

日本海洋科学振興財団

海外渡航費用援助 報告書

2019年 4月 2日

氏名 矢部 いつか

所属機関(院生は大学院と研究科名) 東京大学大学院新領域創成科学研究科

職名(学生は学年) 博士課程2年

渡航期間 2019年 3月18日-2019年 3月22日

渡航先\* 台湾 (高雄)

### 渡航目的とその成果、感想

研究成果を報告すること、海外の研究者との議論を深めることを目的とし、PAMS (The Pacific-Asian Marginal Seas Meeting) に参加し、ポスター発表を行った。参加者は100名程度、講演会場も1部屋と規模は大きくなかったが、約3日間、研究発表だけでなく昼食、夕食も共に過ごした。次第に緊張感もほぐれ、とくに3日目のポスター発表時には多数の研究者、学生に研究成果を聞いてもらうこと、助言をもらうことができた。関連する研究情報も入手した。

また、台湾、中国、韓国、日本のPAMSに関連する取り組みや研究プロジェクトを知ることができた。とくに台湾周辺において黒潮研究が盛んであること、長年、観測的な研究が行われてきたことを知ることができた。

申請者にとっては初の海外での研究発表であったが、日本海の研究者の仲間入りできたように思う。